

受験番号	氏名

一次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ゲームを楽しむためにある「ルール」が果たす機能は、三つに分けることが可能です。

一つは「空間・時間・人数・形式」などの物理的な条件に関する「公平さ」と「共通化」です。全員がスポーツについて共通の理解をしておかなければ、一緒に楽しく遊べませんから。

第二に「暴力を抑制すること」です。暴力的では楽しく遊べませんからね。

以上の二つに収まらない項目を集めて、「その他」という三番目のグループを作ると、このグループが妙なものの集まりであることに気がきます。①ここに収まっている各条項は、何のためにあるのだろう、と分析すると、何と（！）得点や勝利することを「難しくする」ためにあることが分かります。そして、どうもこの「やりにくい条件」を作り出すことがルールの重要な機能なのです。

なぜでしょうか？ 実は答えは意外に簡単。最初に確認したように、ルールは「楽しんでプレー」するためのものだから、「面倒にすることが、楽しむために必要」だからなのです。これがスポーツの基本的な考え方です。ちよつと思議な感じがするでしょう。

「ボールを前に投げることはOK」にしてしまうとラグビーは楽しくない、と思った人たちが集まって、それを「反則」にすると合意したのです。オフサイドがなければ、サッカーの魅力は半減すると思った人たちが、同じくそれを「禁止」として合意したのです。これらのルールに記された具体的な条項には、「何がおもしろいのか」を判断したうえで、競技の参加者によって検討した結果、皆で合意したという歴史的な背景があるのです。そこを理解しておくことは、スポーツを理解するうえで最も重要なポイントです。

何しろ、こういった背景はルールの中に文章として書かれていませんので、それ自体はルールではありません。しかし、プレーする人は事前に理解しておく必要があります。書かれていないけれど、前提になっていることそれが「（A）」というものです。

例えば、商売をする人が契約をする場合、契約する当事者どうしには、そもそも「契約は守るもの」という原則が事前に了解されていなければ契約しても意味がありません。「嘘をつくな」なんてことは法律には書いてありませんが、いけないことだということは皆が知っています。こんなことは大人に言うべきことではなく、子どもの時に「しつけて」おくべきです。同様に、「ルールは守る」という原則のうえに、「ルール」は成立しているのです。原則というのは、簡単に言えばいちいち言う必要がない「当たり前のこと」なのです。

例えば、「勝つために努力せよ」とはルールに書かれていませんが、勝とうと努力しないのであれば、スポーツは無意味です。「勝とうと思わない相手」と対戦したら、全然おもしろくないはずです。「勝つために努力する」のは事前に合意された「原則」なのです。

整理すると、スポーツをプレーする人は、（ルールに書かれているように）「暴力を振るわないで、わざわざ面倒なことを守らなければならない」ことを事前に了解したうえでプレーすることが前提になっているのです。

（高峰修「スポーツ教養入門」より）

問一 ①「ここに収まっている各条項は、何のためにあるのだろう」について、

I 「ここ」が指す内容を文章中から探し、書き抜きなさい。

II この問いに対する答えを、文章中から書き抜きなさい。

問二 （A）に当てはまる最も適切な言葉を文章中から二字で書き抜きなさい。

問三 この文章を要約した次の文章の（B）にあてはまる内容を考えて、「事前」という言葉を使い、書きなさい。

（何文になっても構いません。）

ゲームを楽しむためにある「ルール」が果たす機能は三つある。そして、そのルールに記された具体的な条項には、「何がおもしろいのか」を判断したうえで、競技の参加者によって検討した結果、皆で合意したという歴史的な背景がある。

（ B ）。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

【二十五歳のミュージシャンであるゲンタは、ステージから落ちて気を失った。病室で目を覚ますと、周りには見知らぬ学校の先生や生徒たちがいて、自分を見守っていた。】

「おまえら、あんまり人をコケにすんなよな。こう見ても、おれはれっきとした大人なんじゃ。関西ロック界の生ける伝説的バンド『ビート・キッズ』のボーカル、人呼んで『ゲンタ』こと『源太一』^{みなもと たいいち} っちゅうのがおれの名前や。よう覚えとけ！」

①ふふ、決まったぜ。これで、こいつらもおれの顔をあらためて見て「ああ、そういえばテレビで観たことあるかも」なんて、思ってるんじゃないかねの？ と思ったのに、
崎田先生はおびえたように青ざめて、パツとおれの肩から手をはなした。

「北川先生！ すぐに主治医の先生を呼んできて！」

「あ、はい」

デカいくせに年下なのか、北川先生ってやつは崎田先生に命令されると、転がるように病室を飛び出していった。

崎田先生は、もう一度おれの前に身をかがめて、まっすぐに目を見つめてきた。②その目には今にもこぼれそうに涙があふれていた。

「ねえ、ちゃんと思いきやそうよ。あなたは『滝野南小学校五年一組』の『蓮見ゲンタ』^{はすみ} くんでしょ？ わたしは担任の崎田あゆみ、この子は幼なじみで同級生の大槻サトシくん。ね、思い出してこない？」

「おまえなあ、③言うに事欠いて、どんだけおれのことバカにしたら気がするねん。そりゃあ、ふだんから高校生……まあ、ギリ中学生までやったらまちがえられんこともない。けど、小学五年はいくらなんでもあんまりやろが。金髪^{きんぱつ}にピアスした小学生なんて、どこの世界におんねん」

ほらほら……って左耳のピアスにさわってみたつもりが、ツルツと指がすべった。

問一 ①「ふふ、決まったぜ」と心の中でゲンタは言っていますが、その時の気持ちとして適切なものを次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

ア あせている気持ち イ 少し得意になった気持ち ウ 怒りがおさまらない気持ち エ 悲しい気持ち

問二 ②「その目には今にもこぼれそうに涙があふれていた」とありますが、

I このときの崎田先生の気持ちとして適切なものを次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

ア いつもとちがう蓮見ゲンタに自分がバカにされたと思いいらだっている。

イ 源太一から蓮見ゲンタの居場所を聞き出したとあせている。

ウ 源太一が蓮見ゲンタのことを忘れてるので、悲しく思っている。

エ 蓮見ゲンタが心配で、なんとか正気を取りもどしてほしいと願っている。

II この部分のほかに、崎田先生の気持ちが表情に表れている部分を、文章中から十一文字で書きぬきなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問三 ③「言うに事欠いて」にこめられた「おれ」の気持ちとして適切なものを一つ選び、記号に○をつけなさい。

ア すべての内容をもれなく言えばいいのに

ウ おれのことなんか全く知らないだろうに

「あれっ……？」

そのまま、点滴の針を刺されてない左腕を動かして、髪をさわってみた。④なにかが変だった。いつもの、毛先がハネて全体的にふわふわウェーブのかかった髪と、手ざわりが全然ちがう。なんでこんなに、ツルツツルでしっとりしててまっすぐなんや？

「先生、鏡持ってる？」

サトシってやつが崎田先生に話しかけていたが、おれにはもう何を言ってるのか理解できていなかった。顔や髪の手ざわりだけでなく、目の前に持ってきて（A）見た手のひらも、あきらかにちがうのだ。な、なんでこんなに、ちっさくなってるんだ？ 舞台から落ちただけで体が縮むとか、ありえねーだろ。

「ほら、見てみるよ。どう見ても小学生だろ」

サトシの声とともに、目の前に差し出されたのは、小さな手鏡。ゆつくりとのぞいてみたその中には……日本人形みたいなおかつぱ黒髪の、かぼそくて弱々しい男の子だった。小学五年、にしても幼く見えるその少年は、すうっと弧を描いている眉を必死につりあげて、こっちをにらみつけていた。

「お、おまえ……だ、だれやねん！」

部屋にひびき渡ったのは、女の子みたいにカン高い⑤叫び声だった。

検査だ、カウンセリングだ、っちゅうておれを病院じゅう引きずり回すのは、もうええかげんにしてくれ！

医者も看護師も学校の先生らも、なんておれに「自分が蓮見ゲンタだ」ってことを認めさせようとはかりするんだよ。おれは源太一、ビート・キッズのゲンタだって、何回言ってもまったく取り合ってくれないのだ。

（風野潮「ゲンタ！」より）

※問題はその三に続きます。

()

ア まじまじと
イ さめざめと
ウ ちらちらと
エ せつせつと

（ことに驚いたから。

15	
20	

会話を多用することで、ゲンタと周りの先生や生徒たちとの温かい心の通い合いを描いている。

ウ
ゲンタの気持ちを話し言葉で直接表すことで、ゲンタのとまどう様子をいきいきと描いている。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

化学式では H_2O で示すことができる物質は、日常的な日本語では温度及び状態によって、「氷」「水」「湯」の三つに区

マレー語でも、お湯を特に

ここにあげた、水ということばの三つの言語による内容の相違は、②人間のことばというものが、対象の世界をある特

ア

化学式	H ₂ O		
マレー語	air	air panas	
英 語	ice	Hot water	
日 本 語	氷	水	湯

イ			
化学式	H ₂ O		
マレー語	air		
英 語	ice	water	
日 本 語	氷	水	湯

ウ			
化学式	H_2O		
マレー語	air		
英 語	water		
日 本 語	氷	水	湯

エ			
化学式	H_2O		
マレー語		air	
英 語	ice	water	
日 本 語	氷	水	湯

問二 ②「人間のことはというものが、対象の世界をある特定の角度から勝手に切り取るというしくみを持っていること
の例」で、「水」以外のものを思いつく限り書きなさい。

四 次のぼう線部の読みをひらがなで書きなさい。

- | | | | | |
|-------------------------|---|--------------------------|---|--|
| ① 尊い命を大切に <u>する</u> 。 | (| ② 神社を参拝 <u>する</u> | (| |
| ③ 成功のために手段を <u>選ぶ</u> 。 | (| ④ 兄はスポーツが万 <u>能だ</u> 。 | (| |
| ⑤ 努力は報 <u>われる</u> 。 | (| ⑥ この薬には解 <u>毒作用</u> がある。 | (| |
| ⑦ あの人とは面識が <u>ない</u> 。 | (| ⑧ 方言の分 <u>布</u> を調べる。 | (| |

五 次のぼう線部を漢字に直して書きなさい。送り仮名が必要な場合は送り仮名も書くこと。

- | | | | | |
|-------------------------|---|-----------------------------|---|--|
| ① 木のミキにセミが止 <u>まる</u> 。 | (| ② チャンスがフタタビめ <u>ぐ</u> ってくる。 | (| |
| ③ 被災地へキフを <u>する</u> 。 | (| ④ 時代の流れにギャツコウ <u>する</u> 。 | (| |
| ⑤ むだなことはハブ <u>ク</u> 。 | (| ⑥ 庭のそうじが私のニツカ <u>です</u> 。 | (| |
| ⑦ ケンコウに気を付 <u>ける</u> 。 | (| ⑧ 失敗しても何度もココロミ <u>ル</u> 。 | (| |